

くらよし

October
2011

10

平成23年10月号

No.1400

今月のトップ：台風12号、襲来

特別展「長谷寺の絵馬群」

倉吉博物館で10月23日(日)まで開催中

※21頁に関連記事



CONTENTS

- 台風12号、襲来 2～5
- 防災行政無線デジタル化 6～7
- イメージキャラクター募集 8
- インフォメーション・プラス 9
- インフォメーション 10～15
- あんしんファイル
 / 介護予防 16～17
- ハート・バリアフリー 18
- シナプロ韓国 / とりたん 19
- まちかどピンナップ 20～21
- 出かけてみよう 22～23
- 元気通信 / 人口 24

遅い動きが被害を拡大

8月25日(木)午前9時にマリアナ諸島の西の海上で発生した台風12号は、発達しながらゆっくりとした速さで北上し、28日(日)には強風半径が500キロメートルを超えて大型の台風となり、30日(火)には中心気圧が965ヘクトパスカル、最大風速が35メートルの大型で強い台風となりました。

その後もゆっくりとした速度で北上を続け、9月2日(金)には、暴風域を伴ったまま北上して四国地方に接近し、3日(土)午前10時前に高知県東部に上陸しました。

その後、台風12号はゆっくりと北上して四国地方、中国地方を縦断。4日深夜には、倉吉市付近を通過し、未明に日本海に抜けました。

台風12号は、大型で、動きが遅かったため、長時間台風周辺に非常に湿った空気が流れ込み、西日本から北日本にかけて、山沿いを中心に広い範囲で記録的な大雨となりました。

このため、土砂災害、浸水、河川のはん濫などにより、和歌山県、奈良県、三重県など

台風12号、襲来

「またもや大きな自然災害が日本列島を襲った——」。大型で強い勢力を持った台風12号は、長時間の大雨をもたらし、紀伊半島を中心に甚大な被害が発生した。そして、この倉吉にも狙いを定めたかのように襲いかかり、大きな爪痕を残して通り過ぎていった。



▲道路が崩落し、水道管が損壊(関金町堀)(9月3日(土)午後4時撮影)

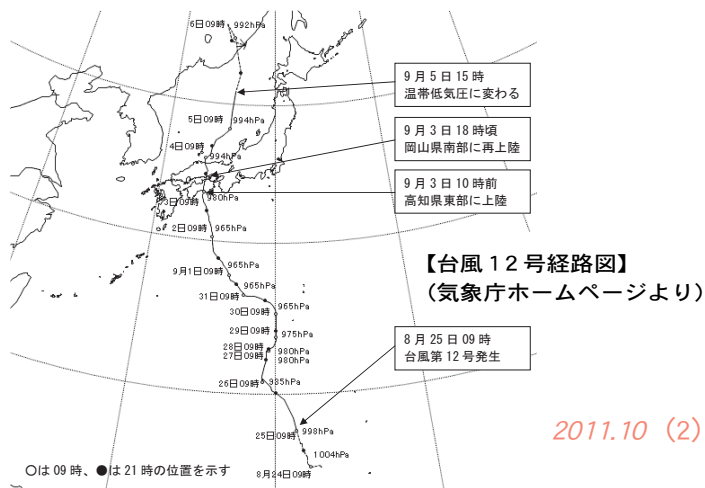
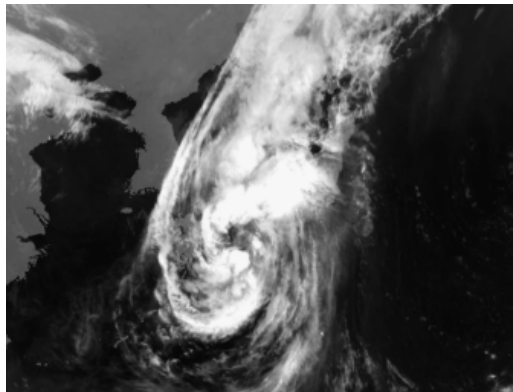
▶天神川も水位が上昇し道路に迫った(小田)(9月3日(土)午前11時21分撮影)

▶がけ崩れにより、道路を一時通行止め(小田)(9月3日(土)午前11時20分撮影)

▶土砂崩れが発生し、民家など2棟が全壊(関金町明高(米富))(9月4日(日)午前11時45分撮影)



▶気象衛星ひまわり7号による観測映像(9月3日(土)午前2時撮影)(気象庁ホームページより)



で多数の死者、行方不明者が発生したほか、北海道から四国にかけての広い範囲で床上床下浸水などの住家被害、田畑の冠水などの農林水産業への被害、鉄道の運休などの交通障害が発生しました。

倉吉市でも大きな被害

倉吉市は、9月2日(金)午後3時10分の大雨・洪水警報発表と同時に警戒本部を設置。30分後の同日午後3時40分に土砂災害警戒情報が発表されると、警戒本部を対策本部に切り替え、対応に当たりました。

しかし、2日午後から3日(土)の午前にかけて、非常に強い雨が降り続け、市内の河川の水位は上昇し、各所で浸水や土砂崩れなどの被害が発生しました。

3日午前11時20分には、関金町明高(米富)、野添の15世帯58人を対象に避難勧告が発令されました。その他にも家屋の床上・床下浸水等により、自治公民館などに自主避難する人が相次ぎました。

道路や河川、農業施設、農作物なども大きな被害を受けました。

【倉吉市の主な被害状況(9月12日午後3時現在)】

- 1 人的被害 なし
- 2 住家および非住家被害
 - ①住家破損：全壊1棟(関金町明高(米富))
 - ②非住家破損：全壊1棟(関金町明高(米富))
 - ③浸水
 - ・床上浸水：2件(上北条地区、灘手地区)
 - ・床下浸水：81件(成徳地区44件、西郷地区32件、その他5件)
- 3 市道、道路・川(水路)の被害

被害箇所	被害額(千円)	備考
市道(55路線)	101か所 108,100	被害額不明13件
河川・水路(18本)	38か所 64,150	被害額不明5件
その他	3か所 400	山、個人敷地等

- 4 上水道の給水管損壊：藤井谷1件、西町1件、関金町堀1件、長谷寺1件
- 5 農林水産業関係の被害

	被害件数	被害額(千円)	備考
農地	71件	34,060	被害額不明54件
農道	29件	16,400	被害額不明18件
水路・ため池など	57件	26,610	被害額不明25件
山	15件	3,500	被害額不明13件
林道	14件	104,400	被害額不明5件
未調査	16件	—	

作物名	栽培面積	被害状況	被害額(千円)
梨	二十世紀等 8.4a	落果(0.1%未満)	
梨	二十世紀等 2.2a	落果(5~10%)	1,470
西瓜	大玉 8.8a	ハウス内冠水(4棟)	
西瓜	小玉 8.4a	ハウス内冠水(2棟)	
イチゴ	イチゴ苗 3.6a	ハウス内冠水(1棟)	
キャベツ	キャベツ苗 1.65a	ハウス内冠水(1棟)	
キュウリ	2.5a	ハウス内冠水(1棟)	

- 6 トイレの冠水被害：成徳地区24件、上灘地区3件、その他14件
- 7 文化財の被害

被害物件	被害の状況	被害額(千円)
県指定保護文化財長谷寺本堂	本堂の基礎の南側斜面が土砂崩れ	1,347
国選定重要伝統的建造物群保存地区 倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区	玉川等増水のため34件余床下浸水	
国指定史跡伯耆国府跡法華寺畑遺跡	南門の南側斜面が土砂崩れ	
国指定天然記念物波渡伎神社社叢	神社西側の道路沿いががけ崩れ	



◀道路が浸水し、福守町自治公民館に自主避難する住民(福守町)
(9月3日(土)撮影)

【撮影した人の話】

「この写真は、水位が最高になり、自治公民館への避難を決めた時に撮影したものです。」

自宅アパート周辺の道路が浸水し、いつもと違う景色になっていました。この時、自治公民館の総務部の方が一軒一軒に声を掛けてくださいました。アパートに居ると、外部の情報が分らず、見える所は水浸しになっていてどうしてよいものだろうかと不安になっていました。

いざ避難するにもどこに行ってもよいか知らなかったですし、声を掛けていただいて行動するきっかけになりました。

水がいつ引くのかも、分からなかったので、持ち出し品も悩みました」

台風12号を教訓に



倉吉市長 石田 耕太郎

9月2日から5日にかけて我が国を襲った台風12号は、日本各地に大きな被害をもたらしました。この倉吉市においても、多いところでは800ミリメートル近くの大雨が降り、河川の増水や土砂崩れにより、家屋の損壊、床上・床下浸水のほか、道路、河川、農業施設などに大きな被害が出ました。

今後被災個所の復旧に全力で取り組みまいります。

また、この台風への対応にあたり、多くの消防団の皆様をはじめとする市民の皆様、国、県等の関係者の皆様に大変お世話になりました。

治水対策は一朝一夕にはできません。長期的に取り組むもの、短期的に取り組むものに分けて取り組んでいく必要があります。

ご尽力いただいた全ての皆様に心より感謝を申し上げます。

倉吉市の弱点も明らかになりました。今回の対応を通じて皆さんの改善すべき点もあります。急傾斜地の近くに住民がいる方々にはその危険性を理解していただくことも必要です。刻々と変化する情報をどう提供するのか。避難をどうするのかが。避

また、この台風への対応にあたり、多くの消防団の皆様をはじめとする市民の皆様、国、県等の関係者の皆様に大変お世話になりました。

刻々と変化する情報をどう提供するのか。避難をどうするのかが。避

また、この台風への対応にあたり、多くの消防団の皆様をはじめとする市民の皆様、国、県等の関係者の皆様に大変お世話になりました。

刻々と変化する情報をどう提供するのか。避難をどうするのかが。避

また、この台風への対応にあたり、多くの消防団の皆様をはじめとする市民の皆様、国、県等の関係者の皆様に大変お世話になりました。

刻々と変化する情報をどう提供するのか。避難をどうするのかが。避

また、この台風への対応にあたり、多くの消防団の皆様をはじめとする市民の皆様、国、県等の関係者の皆様に大変お世話になりました。

刻々と変化する情報をどう提供するのか。避難をどうするのかが。避

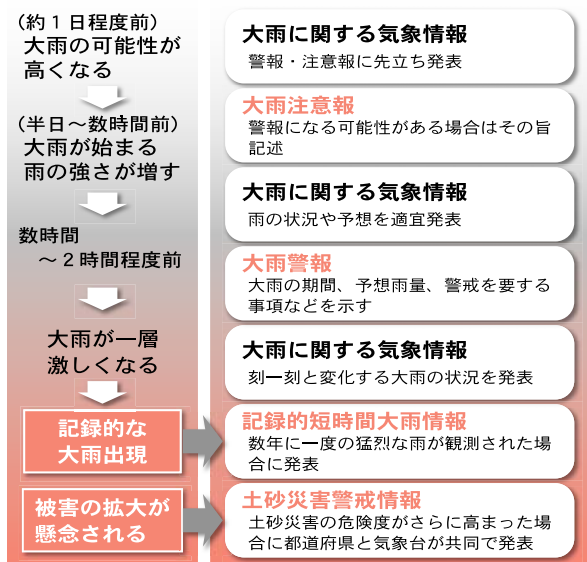


◀住宅への浸水を防ぐため、土嚢を積む北谷消防団(藤井谷) (9月3日(土)午前9時4分撮影)



国土省倉吉河川国道事務所は、内水被害防止のため、国府川でポンプ車を稼働(9月3日(土)午後3時30分撮影)

大雨の場合に気象台が発表する防災気象情報



各種防災気象情報のタイミングの例

「土砂災害警戒情報」って何？

台風12号では、倉吉市に「土砂災害警戒情報」が発表されました。あまり聞き慣れない言葉で、「一体どんな情報なのか、何をすればいいのか」と戸惑った人も多いのではないのでしょうか。

「土砂災害警戒情報」は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時、市町村が避難勧告などを発令する際の判断や、住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

土砂災害警戒情報は、降雨から予測可能な土砂災害のうち、避難勧告などの災害応急対応が必要な土石流や集中的に発生する急傾斜地崩壊を対象としています。

【早期避難が重要です】

「土砂災害警戒情報」などが発表されていなくても、斜面の状況には常に注意を払い、普段とは異なる状況に気がついた場合には、直ちに周りの人と安全な場所に避難するとともに、市役所などに連絡してください。

もう一度、備えを確認しよう

台風12号の後には、台風15号も日本列島を直撃しました。台風シーズンはまだ続きます。

また、近年は異常気象や自然災害が頻発しています。もう一度、「いざというとき」の備えを確認しておきましょう。

強風・大雨に備えて

強風・大雨のときに屋外に出るのは大変危険です。テレビ・ラジオなどの気象情報に注意し、早めに対策をとりましょう。

- 屋外を点検し、風で飛ばされそうな物はしっかりと固定する。
- 大雨のおそれがあるときは、排水口などに溜まっている泥、ゴミなどを取り除いておく。
- 雨戸を閉め、窓ガラスに飛散防止用のテープを貼る。
- 家の周りに土砂災害の前兆現象が見られるなど、危険な場所がないか確認しておく。

【土砂災害の前兆現象】

■がけ崩れ

- 小石がばらばらと落ちてくる。
- 地面にひび割れができる。
- 普段出ている湧水の量が増加したり、濁ったりしてくる。

■地すべり

- 地面にひび割れができる。
- 樹木が傾いたり、倒れたりする。

■土石流

- 山鳴りがする。
- 大雨で普段よりも増水している川の水位が下がる。
- 川の水が濁り、上流から木などが流れてくる。
- 火薬のような臭いがする。

災害に備えて

災害が発生したとき、必ずしも家族が一緒にいるとは限りません。ひとりで混乱しないため、日ごろから家族で「災害時にどうすればよいか」を話し合っておくことが必要です。

また、自治公民館などで開催される防災訓練、防災研修会に積極的に参加しましょう。

- 地震・洪水ハザードマップなどで避難場所を確認し、安全な避難ルートを確認しておく。
- リュックなどの背負い式バッグに非常時の持ち出し品を準備しておく。

【持ち出し品の例】

- 食料、飲料水(約3日分)
- 救急用品
- 携帯ラジオ、懐中電灯
- 衣類、マスク、タオル、ティッシュ、オムツ、靴などの生活用品
- 現金、通帳、免許証、健康保険証のコピー
- 家族の状態に応じた物品(粉ミルク、処方せんなど)

避難時の心がけ

避難するときは、火の元、戸締まりなどを確認し、隣近所で声を掛け合って避難しましょう。特に、高齢者・障がい者・子どもなどに配慮し、地域住民が助け合って避難しましょう。

安否確認

災害時に家族や知人の安否を確認する手段として、「災害用伝言ダイヤル『177』」や「iモード災害用伝言板サービス」などを覚えておき、いざというときに活用しましょう。

NTT緊急速報(緊急地震速報、災害・避難情報)「エリアメール」の配信を始めました。

倉吉市では、NTTドコモが提供する緊急速報サービス「エリアメール」による、避難勧告等の災害情報のメール配信を9月1日(木)から開始しています。NTTドコモの携帯電話を使用する人へ、新たな費用負担や事前登録不要で防災情報を伝達します。配信情報は、避難勧告・指示、津波警報、テロ情報などです。

対応機種や受信設定など詳しくは、NTTドコモの専用ホームページ(<http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail>)をご覧ください。

※現在、このようなサービスはNTTドコモのみが行っています。今後、ほかの携帯電話会社から同様のサービスが提供されることとなった場合には、順次対応していく予定です。

本市では、防災情報の伝達手段の拡充に取り組んでおり、エリアメールで配信される災害情報は、倉吉市のメール配信サービスや防災行政無線などでもお伝えします。

【倉吉市メール配信サービス登録方法】

登録用アドレス: kurayoshi@xpressmail.jp

1. 上記アドレスに、空メールを送信してください。
2. 登録用メールが返信されますので、メールに記載された「登録・変更方法」へアクセスし、指示に従って登録してください。

☎ 総合政策課 ☎ 22-8161 / ☎ 22-8144

